



サロマ

第138号 平成23年5月

社協だより

発行 社会福祉法人佐呂間町社会福祉協議会 老人福祉センター内 TEL2-3732
公式サイト <http://saroma3732.com>

東日本大震災義援金の募集について

3月11日に東日本を襲った地震災害により、未曾有の被害が発生し、激甚災害指定がなされました。

中央共同募金会では、都道府県共同募金会による「全国災害たすけあい」を実施し、被災者の方々の救助の一助とするために災害義援金を募集することとなりました。

また、集められた義援金は、中央共同募金会、厚生労働省、日本赤十字社、全国社会福祉協議会、被災県と協議した上で、被災者支援や被災地の復興のために、有効に使われべく、具体的に協議を進めております。


佐呂間町共同募金委員会におきましても、多くの町民のみなさまの応援、支援の気持ちが伝わるよう義援金の募集を行いますので、ご協力をお願い致します。

この度の大地震・大津波により犠牲になられた方へお悔やみ申しあげますとともに、被災者の皆さまへ心よりお見舞い申しあげます。

4月14日現在の災害義援金送金額	1,195,668円
------------------	------------

『義援金募集内容』

募集義援金名称	東日本大震災義援金
募集期間	平成23年3月14日(月)～平成23年9月30日(金)まで
受付場所	佐呂間町共同募金委員会 (佐呂間町老人福祉センター内)

 この社協だよりは、共同募金委員会の助成により、発行されています。



就任のごあいさつ

社会福祉法人佐呂間町社会福祉協議会

会長 渡部 修一

新緑の候を迎え、町民の皆様には益々のご清祥のこととお喜び申し上げます。

三月十一日、東日本を襲ったM9の巨大地震は、我々が経験したことのない大津波、そして人災とも言える原発事故と未曾有の被害をもたらしました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を願っています。

さて、この度の社会福祉協議会理事会におきまして、会長にご選任いただき、三月二十七日付けをもちまして就任いたしました。

昭和二十六年に社会福祉事業法が制定され、六十年という長い歴史の中、佐呂間町社会福祉協議会は、平成元年に法人化され、この間行政出身の大ベテランが二十年間会長職を努めてまいりましたが、今回、福祉とはまったく無縁の民間出身の私とその重職を担うこととなり、その職責の重さを痛感いたすところでございます。

もとより人生経験も浅く、若輩者ではありますが、職責を全うする所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

佐呂間町社会福祉協議会も創立六十年と長い活動の中、地域住民の深いご理解とご協力をいただき、更には町当局、各関係機関のご支援のもと、本会の福祉施設や運営体制の整備充実が図られ、地域福祉の推進拠点として確立されました。

今日、社会を取り巻く環境は、少子・高齢化が急速に進行している中、社会福祉に対する期待は増大し、ニーズは多様化しています。この現状を認識し、『安心・安全・福祉のまちづくり』を目指して地域住民や、関係機関の協力により、介護など各種サービスの提供と地域におけるサポート体制の充実を図りながら高齢者が安心して暮らせる地域社会の構築に努めます。

今後、更に高齢化が進む社会情勢の中で、介護保険事業・障害者福祉サービスの向上と内容の充実に努めるとともに、町民一体となった福祉の向上と各関係団体のご協力のもと、福祉活動の推進と地域づくりの発展に努力して参る所存であります。

何卒、町民各位の暖かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

佐呂間町社会福祉協議会 役員改選について

3月22日『第3回理事会』『第2回評議員会』で、社協理事・監事、評議員の役員改選が行われ、27日『第4回理事会』で社協会長・副会長の選任が行われました。

選任された皆様には今後とも本町の地域福祉の充実にお力添えを頂きますようお願い申し上げます。(敬称略)

藤原一	桑原一	清水一	三田一	筒井一	相田一	天沼一	日沼一	井上一	鈴木一	川根一	増子一	渡部一
成茂	子美	雄志	孝和	洋孝	孝一	美智	政信	新一	新一	新一	新一	新一
(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)
(新)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)

北	西中央	西富	朝日	武士	中園・川西	若佐	栃木	栄	社協評議員一覧	監事	社協監事一覧
土八	岡玉	木戸	鈴木	青木	原田	野畑	高瀬	伊藤	浅田	佐々木	五十嵐
田矢	本井	戸	木	木	崎田	美畑	瀬	藤	田	孝三郎	智
留美子	祐美	フミ子	詔一	喜久夫	涼子	ふみ子	勝久	賢一	清	(再)	(再)
(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(新)	(新)	(新)	(再)	(新)	(再)	(再)

若里	富武士	幌岩	浜佐呂間	仁倉	知来	東	佐呂間
吉澤	中西	船木	渡部	斉藤	斉藤	村岡	吉口
和庸	庸	淳好	好	光	則	竹	正昭
弘	子	一	則	則	雄	雄	春
(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)	(再)

社会福祉協議会人事
事務局長 桜井 政彦

福祉用具の貸し出しについて

社会福祉協議会では、社協会員である町民の皆様に対し、福祉用具の貸し出しを行っておりますので、ご希望の方はご連絡ください。

貸し出し福祉用具

- 車イス
- 歩行器
- シャワーチェア

貸し出し条件

- 町内に住所を有する方
- 貸し出し期間は一ヶ月(延長可能)

申し込み方法

- 印鑑をご持参の上、老人福祉センターにお越しください。
- 申込者への記入後その場でお渡しします。

お問い合わせ

佐呂間町社会福祉協議会

平成23年度 佐呂間町社会福祉協議会 事業計画について

基本方針

昨年からの政権運営の迷走が続く中、宮崎県での口蹄疫・鳥インフルエンザの感染、北海道においても鳥インフルエンザに感染した渡り鳥が確認されるなどの出来事がありました。

また、宮崎県霧島連山新燃岳の噴火、ニュージーランドでの地震など、自然の猛威が見られる他、インフルエンザの流行による住民生活の不安感を拭えないところでもあります。

このような中であって、社会を取り巻く環境は、少子・高齢化社会の進展などにより、社会福祉に対する期待は増大し、ニーズは多様化しています。この現状を認識し、北海道社会福祉協議会が展開する「安心・安全・福祉のまちづくり」の実現に向けて、地域住民や関係機関などとの協働により、地域の固有課題や住民の生活課題の解決に努めます。

また、介護保険事業や障害福祉サービス事業の動向を見極め利用者のニーズにあった福祉サービスの提供とマンパワーの確保に向けた研修事業の実施、多様化する福祉ニーズに対応した地域福祉サービスの実施、将来的な展望にたった福祉サービス構築のための調査・研究、住民参加によるボランティア活動の推進を図るなど、地域福祉の中核的な推進役として、幅広い住民の参加と参画を得ながら一層の活動強化に努めてまいります。

平成23年度の佐呂間町社協の取り組み

1. 法人運営の基盤強化

社協の現状と今後の運営について、役員・関係者等のために研修会開催及び研修会への参加を促進し、社協及び社協役員の役割を認識していただくとともに、保健・福祉・医療等関係機関との更なる連携と情報の共有に努めます。

- ① 役職員の研修会開催や研修会への参加
- ② 保健・福祉・医療等関係機関及び民生児童委員協議会との連携強化
- ③ 理事会・評議員会の開催と定期監査の実施
- ④ 財政基盤の強化と一般財源の確保
- ⑤ 法令遵守の徹底

2. 福祉事業の推進

地域住民の福祉ニーズに対応した新たな福祉サービス事業の創出を含め、きめ細かい地域福祉サービスの提供に努め、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

- ① 在宅福祉各種サービスの実施(移送、給食宅配、オムツ支給等)
- ② ひとり暮らし高齢者福祉事業の実施(ふれあい郵便、集い等)
- ③ 地域老人施設整備費助成の実施(備品等整備)
- ④ 福祉関係団体の育成・支援
- ⑤ 共同募金事業への協力(赤い羽根、歳末たすけあい運動)
- ⑥ 心配ごと相談等相談支援体制の充実

3. 住民参加による福祉活動の推進

地域の福祉課題に対応するためには、地域自らの福祉力の向上が求められるところです。たすけあいチーム未組織地域については、引き続き結成に向けた奨励を進めると共に、既に組織されているたすけあいチームにあっては、活動推進のための支援を図り、将来的展望を見据えた地域のニーズに対応する新たな地域福祉活動の創出に向けた調査・研究を進めます。

- ①たすけあいチームの結成促進、活動支援、代表者会議の開催
- ②ふれあいサロン事業実施に向けた調査研究
- ③ふれあい広場の開催
- ④佐呂間町コミュニティ運動の推進

4. 福祉の資金貸付事業の実施

- ①生活福祉資金貸付相談業務(道社協貸付)
- ②愛情資金貸付事業
- ③法外援助資金貸付

5. 介護保険事業・障害福祉サービス事業の円滑実施

介護予防に重点を置いた介護保険法やサービスの一元化を目指す障害者自立支援事業が実施され、より関係機関との連携や質の高いサービスが求められています。利用者を地域社会の構成員として、住み慣れた地域や家で、その人らしくより良い生活を過ごしていただけるよう支援していきます。また、関係職員等の研修参加を促進し、能力の向上に努めると共に、人材確保の観点から独自の人材育成研修の実施を目指します。

- ①介護予防訪問介護・訪問介護サービス事業の円滑実施
- ②障害福祉サービス事業の円滑実施
- ③町委託事業の受託(安否確認、生活指導)
- ④介護職員等の研修及び育成
- ⑤移送サービス事業の円滑実施

6. 社会福祉体験とボランティア活動の推進

児童・生徒の福祉意識を高めていただけるよう、福祉の情報と体験の場を提供します。また、突然の災害に備えて行政等関係機関との連携強化に努めると共に、誰もが地域で安心して暮らしていけるように、小地域でボランティア活動の推進と支援に努めます。

- ①社会福祉体験の実施とボランティア指定校への活動支援
- ②ボランティア連絡協議会との連携・支援
- ③ボランティア講座の開催
- ④企業等の地域貢献活動との連携
- ⑤ボランティア活動への参加促進

7. 広報活動

定期的な広報誌の発行を行い、行事や事業、各種福祉サービスの啓発を図ると共に、自発的な情報公開に努めます。

- ①社協だよりの発行
- ②ホームページの管理運営

8. 指定管理事業の受託

昨年度に引き続き町から指定管理者として、適切な施設の管理運営に努めます。

- ①老人福祉センターの指定管理
- ②屋内ゲートボール場の指定管理

平成23年度 資金収支予算内訳表

資金収入の部

(単位 千円)

大区分	本年度	前年度	差引	法人	福祉	移送	共募	訪問	障害	愛情	管理
《経常活動収入》											
会費収入	2,557	2,570	△ 13	2,557							
寄付金収入	2,200	2,200	0	2,200							
補助金収入	20,812	19,216	1,596	18,678	2,134						
助成金収入	74	74	0	74							
受託金収入	18,390	13,780	4,610			4,933					13,457
事業収入	88	1,077	△ 989		88						
貸付事業等収入	641	666	△ 25							641	
共同募金助成金収入	1,466	1,242	224				1,466				
負担金収入	437	437	0		437						
居宅介護料収入	7,488	9,159	△ 1,671					7,488			
自立支援費等収入	1,056	695	361						1,056		
その他の事業収入	1,839	5,796	△ 3,957					1,839			
利用料収入	450	500	△ 50								450
雑収入	86	87	△ 1	30	51						5
受取利息配当金収入	50	50	0	50							
経常収入計	57,634	57,549	85	23,589	2,710	4,933	1,466	9,327	1,056	641	13,912
経理区分間繰入金収入	2,169	2,053	116		2,169						
《財務活動収入》											
積立預金取崩収入	1,105	0	1,105					1,105			
前期末支払資金残高	1,512	1,487	25	1,000						512	
収入合計	62,420	61,089	1,331	24,589	4,879	4,933	1,466	10,432	1,056	1,153	13,912

資金支出の部

(単位 千円)

大区分	本年度	前年度	差引	法人	福祉	移送	共募	訪問	障害	愛情	管理
《経常活動支出》											
人件費支出	34,341	34,513	△ 172	15,944		3,390		9,352	803		4,852
事務費支出	3,892	3,836	56	3,892							
事業費支出	17,346	15,802	1,544		4,750	1,543	827	917	253		9,056
貸付事業等支出	1,153	1,153	0							1,153	
共同募金助成金事業費	768	659	109		129		639				
負担金支出	434	1,234	△ 800	400				30			4
経常支出計	57,934	57,197	737	20,236	4,879	4,933	1,466	10,299	1,056	1,153	13,912
経理区分間繰入金支出	2,169	2,053	116	2,169							
《施設整備等支出》											
固定資産取得支出及び繰入支出	854	350	504	854							
《財務活動支出》											
積立預金積立支出	1,182	1,277	△ 95	1,049				133			
予備費	281	212	69	281							
支出合計	62,420	61,089	1,331	24,589	4,879	4,933	1,466	10,432	1,056	1,153	13,912

佐呂間高校1年生の点字体験授業



3月15日 佐呂間高校1年生(35名)で、視覚体験学習が実施されました。

この授業は、講師に小林精治さんを招き、目の見えない生活についてご講演いただき、その後点字体験を行い、生徒と先生が一緒になって初めての点字体験に、一所懸命取り組んでおりました。

小林さんに視覚障害の苦勞をご講演いただきました



点字で自己紹介や小林さんへの手紙を打ってもらいました

相談員名簿

岸 本 勲
(学識経験者)
山 口 光子
(学識経験者)
井 上 孝 一
(社協理事)
北 村 瞬 襄
(学識経験者)
今 井 經 二
(行政相談員)
小 池 栄
(学識経験者)
河 本 孝 治
(学識経験者)
桑 原 茂
(社協理事)

電話番号2-3732

① まず社協にお電話ください。
希望の相談員がいる場合はお名前を、いない場合は相談内容をお知らせください。

② 相談員に連絡し、相談室に来ていただく時間を決めます。
また直接相談員に電話で相談することも可能です。



ご存知ですか
心配ごと相談

あたたかいご寄付をありがとうございます

あたたかいご寄付をお寄せいただき、厚くお礼申し上げます。
みなさまのご厚意に感謝し、地域の福祉活動に活用させていただきます。
(平成23年1月26日～23年4月18日)

◎香典返しを廃して

- ・十亀祐一様(宮前) 30,000円・加藤久江様(北) 30,000円
- ・山口哲夫様(西富) 30,000円・山崎政幸様(浜佐呂間) 30,000円
- ・佐藤英一様(札幌市) 30,000円・伊藤光夫様(西富) 30,000円
- ・山本サヨ様(西富) 20,000円・佐藤誠子様(永代町) 20,000円
- ・城榮子様(西富) 20,000円・皆川蓉子様(永代町) 30,000円
- ・影山透様(宮前町) 50,000円・松尾弘子様(宮前町) 30,000円
- ・平戸隆政様(西富) 30,000円・山内喜代子様(浜佐呂間) 30,000円
- ・宮坂利喜子様(若佐) 30,000円・中島好弘様(川西) 30,000円
- ・井上敬俊様(若里) 30,000円・平戸徳昌様(宮前町) 30,000円
- ・齊藤里志様(幌岩) 50,000円

◎米寿・傘寿祝い記念

- ・川根春子様・安藤夏子様 100,000円

社会福祉協議会内
TEL2-3732

■受付時間■
月～金曜日(来所・電話)
午前8時30分～
午後5時15分



こんなときにお電話ください

・知らない業者からダイレクトメールが届いた。どうしたらよいか

・消費者金融などに多額の借金があるがどのようにしたらよいか

・お金を預けると高額な配当金が入ると言われたが本当なのか

・訪問販売で高額な健康器具を購入してしまった。解約したい

・携帯電話のメールに覚えのない情報料の請求が来た。どうしたらよいか

クーリング・オフのやり方を教えて

消費生活相談について